

環境実績報告

事業所名：長野事業所

報告範囲：長野事業所

所在地：長野県上伊那郡箕輪町大字三日町482-1

報告対象期間：2016年4月1日～2017年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 山口 昌利（総務部 総務課 次長）

区分	テーマ	目標	実績	評価	2017年度目標
1	地球温暖化対策	CO ₂ の排出量 1%抑制(2015年度・原単位比)	月平均81.7t-CO ₂ /㎡、4.6%抑制	○	CO ₂ の排出量 1%抑制(2016年度・原単位比)
		電気エネルギー使用量 1%削減(2015年度・原単位比)	月平均152.2kWh/㎡、4.9%削減	○	電気エネルギー使用量 1%削減(2016年度・原単位比)
2	省エネルギーの推進/ 水資源の削減	井水使用量 1%削減(2015年度・原単位比)	月平均3.26㎡/㎡、7.2%削減	○	井水使用量 0.5%削減(2016年度・原単位比)
3	廃棄物の削減	総排出量 1%削減(2015年度・原単位比)	月平均16.0kg/㎡、13.8%削減	○	総排出量 1%削減(2016年度・原単位比)
4	緊急事態の発生抑制	労働災害の発生抑制 休業4日以上労災:0件、4日未満労災:4件以下	休業4日以上労災:0件、4日未満労災:5件	×	労働災害の発生抑制 休業4日以上労災:0件、休業4日未満労災:4件以下
5	地域調和活動及び ボランティアの推進	環境調査活動及びボランティアへの参加推進	天竜川水系ピクニック参加、献血、 インターンシップ受入、地元地域への貢献等	○	環境調和活動及びボランティアへの参加推進

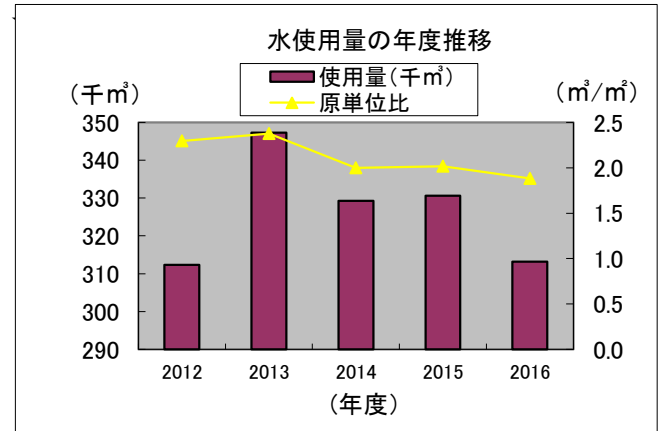
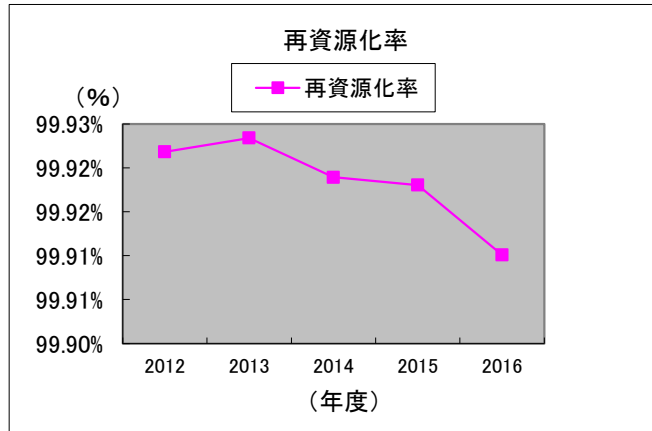
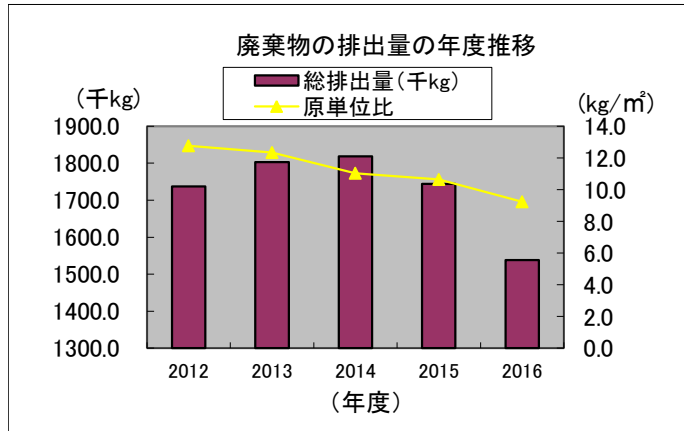
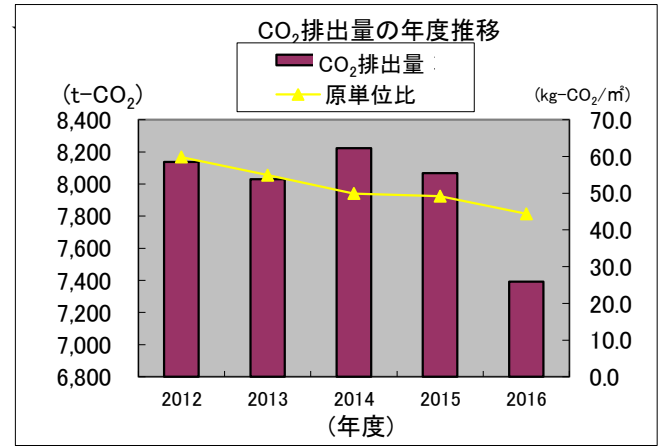
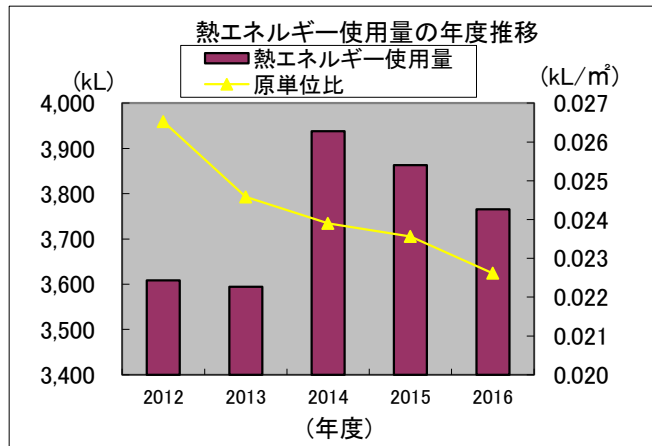
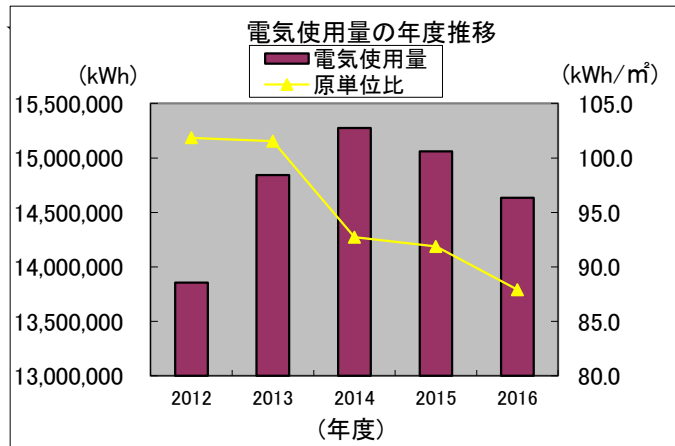
<各報告における注意事項>

- 1 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各事業所の電力会社・ガス会社により異なります。
- 2 水資源について、各事業所の使用水源が異なります。
- 3 水質測定について、各事業所所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 4 大気測定について、法規制対象設備が無い事業所は報告から除外しております。
- 5 PRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。
- 6 大阪事業所は、2013年度に美原工場・堺工場を集約しました。その為に2012年度以前と2013年以降のデータを比較できません。
- 7 キョウデンプレジジョンは、2015年度中にグループへ含まれました。
- 8 長野事業所は、目標の原単位と環境負荷データの原単位は異なります。

環境負荷データ

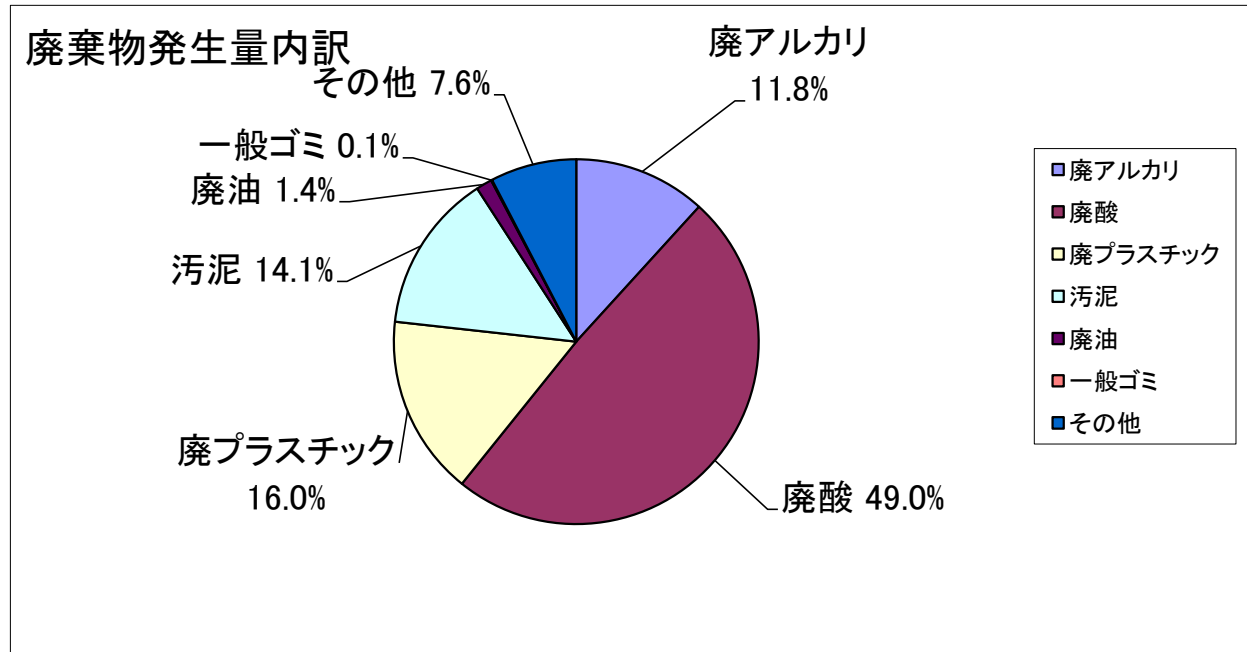
事業所名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果						大気の測定実績			
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	井水	pH	BOD	COD	SS	n-ヘキサン(鉱油類)	n-ヘキサン(動植物油類)	大腸菌群数	特定施設名		
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	個/cm ³	Nox(ppm)	Sox(ppm)	ばいじん(mg/m ³)
長野事業所	14,635,377	3,765	7,392	1537.864	1536.481	313.2119	7.4-7.7 (5.8-8.6)	23(30)	28(-)	4(50)	1未満 (5)	1未満 (30)	0(3000)	該当無し	該当無し	該当無し

CO₂排出係数(電気):0.000486 t-CO₂/kWh



廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃アルカリ	180761	11.8%
廃酸	754053	49.0%
廃プラスチック	245521	16.0%
汚泥	216960	14.1%
廃油	21718	1.4%
一般ゴミ	1382.65	0.1%
その他	117467.9	7.6%
合計	1537864	100%



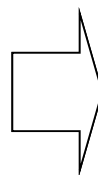
PRTRデータ

単位: kg/年

政令番号	物質名	取扱量	排出量					移動量		
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動	移動量合計
20	2-アミノエタノール	1900	0.50	310	0.0	0.0	310.50	0.0	1600	1600
71	塩化第二鉄	150000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
82	銀及びその水溶性化合物	1100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
272	銅水溶性塩(錯塩除く)	73000	0.0	94	0.0	0.0	94	0.0	0.0	0.0
291	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)-1,3,5-トリアジン-2,4,6(1H,3H,5H)-トリオン	1200	0.10	7.1	0.0	0.0	7.2	0.0	760	760
395	ペルオキソ二硫酸ナトリウム	33000	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	32000	32000
411	ホルムアルデヒド	2800	14	0.41	0.0	0.0	14.41	0.0	2000	2000
	合計	263000	14.6	411.51	0.0	0.0	426.11	0.0	36360	36360

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	1,464 万kWh
重油	0 kL
灯油	36 kL
軽油	1 kL
都市ガス	0 km ³
LPG	30 km ³
資源	
地下水	313 千m ³
上水・工水	5 千m ³
基板コア材	164,430 m ²
段ボール	37 t
化学物質	
PRTR物質	263 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	7,392 t-CO ₂
水域	
河川	279 千m ³
下水	0 千m ³
廃棄物	
再資源化量	1,536 t
最終処分量	1 t
PRTR物質移動量	36 t

製品	
プリント配線板	96,188 m ²

※出荷面積

環境実績報告

事業所名：横浜事業所

報告範囲：横浜事業所

所在地：神奈川県横浜市都筑区川和町280番地

報告対象期間：2016年4月1日～2017年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 高橋 浩太郎（横浜工場長兼横浜生産技術課長）

区分	テーマ	目標	実績	評価	2017年度目標
1	地球温暖化防止対策	電気エネルギー使用量1.0%削減	月平均 6.744kWh/m ² 目標値に対し9.1%削減	○	電気エネルギー使用量1.0%削減
2		ガス使用量0.1%削減	月平均 0.357m ³ /m ² 目標値に対し11.5%削減	○	ガス使用量1.0%削減
3	省エネルギーの推進/水資源の削減	上水使用量0.05%削減	隔月平均 0.065m ³ /m ² 目標値に対し3.9%削減	○	上水使用量1.0%削減
4	廃棄物の削減	産業廃棄物量1.0%削減	月平均 2.238kg/m ² 目標値に対し4.1%削減	○	産業廃棄物量1%削減
5	緊急事態の発生抑制	労働災害の発生抑制 目標値 休業4日以上:0件/年、休業4日未満:2件以下/年	休業4日以上:1件/年、休業4日未満:5件/年	×	休業4日以上:0件/年 休業4日未満:2件/年
6	化学物質管理体制の確立	作業主任者および法定資格者の異動、配置替えによる見直し、資格者の補充	特定化学物質作業主任者1名補充し、配置図の見直しを実施	○	作業主任者および法定資格者の異動、配置替えによる見直し、資格者の補充
7	地域調和活動及びボランティアの推進	工場近隣の美化活動	工場近隣の美化活動4回実施	○	工場近隣の美化活動4回/年

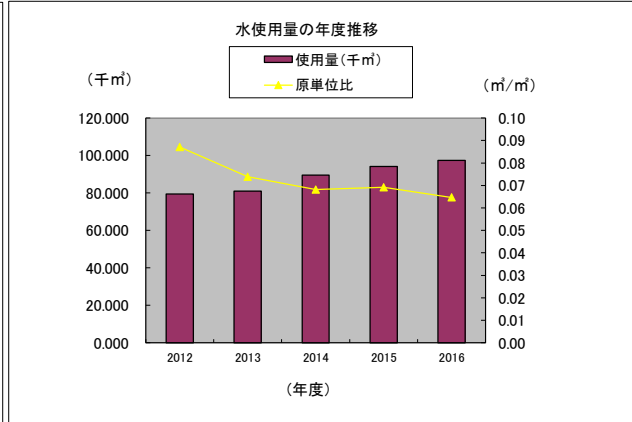
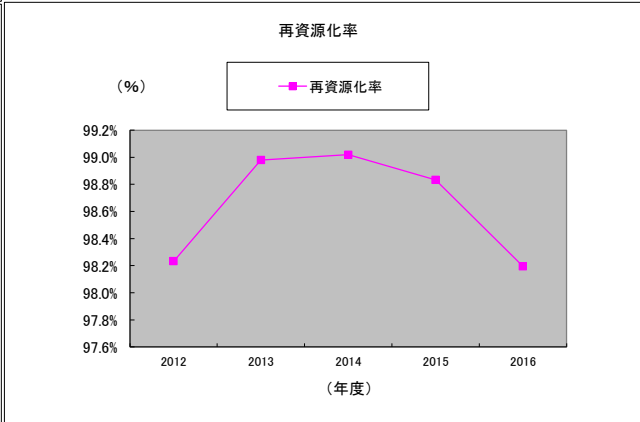
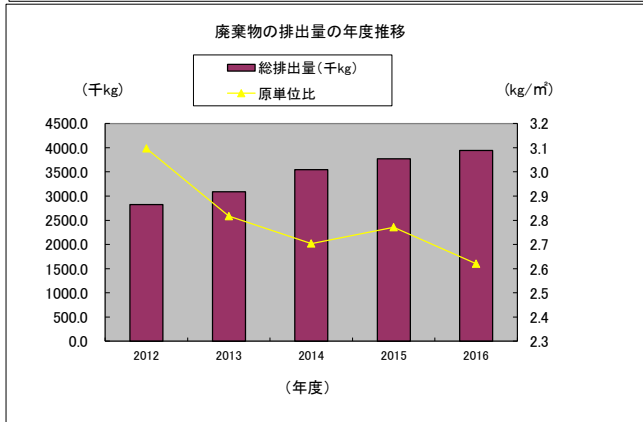
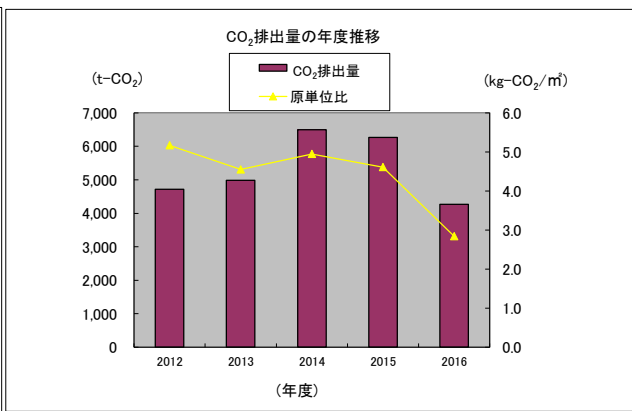
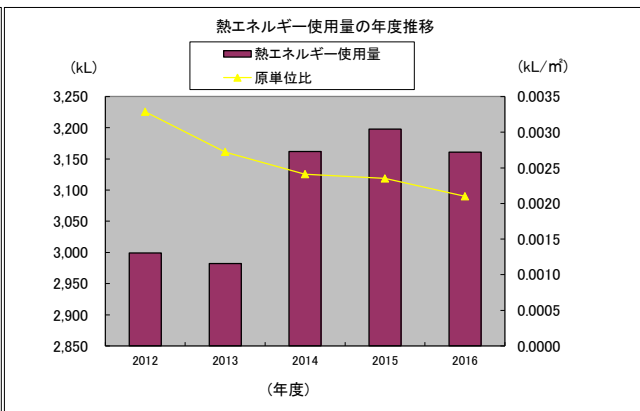
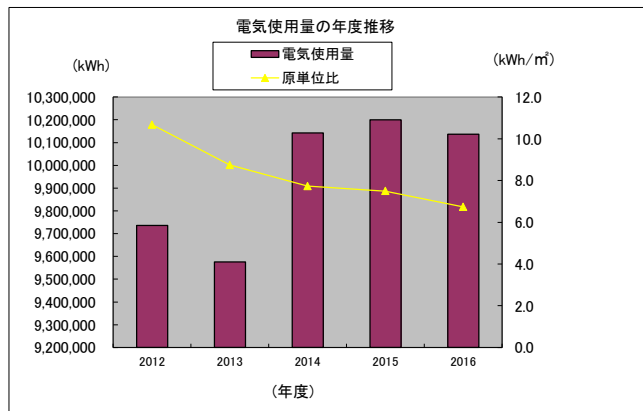
<各報告における注意事項>

- 1 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各事業所の電力会社・ガス会社により異なります。
- 2 水資源について、各事業所の使用水源が異なります。
- 3 水質測定について、各事業所所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 4 大気測定について、法規制対象設備が無い事業所は報告から除外しております。
- 5 PRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。
- 6 大阪事業所は、2013年度に美原工場・堺工場を集約しました。その為に2012年度以前と2013年以降のデータを比較できません。
- 7 キョウデンプレジジョンは、2015年度中にグループへ含まれました。

環境負荷データ

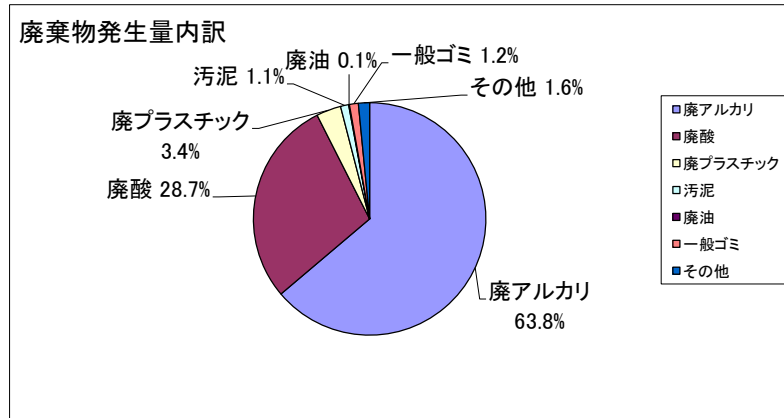
事業所名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果														大気の測定実績			大気の測定実績			
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	井水	pH	BOD	SS	Cu	Ni	T-N	T-P	Cn	Pb	D-Mn	D-Fe	B	NH4N	n-ヘキサン(鉱油類)	ボイラー1号機	ボイラー2号機	冷温水発生機R-1	冷温水発生機R-2	冷温水発生機R-4		
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	Nox(ppm)	Sox(ppm)	ばいじん(mg/m ³)	Nox(ppm)	Sox(ppm)	ばいじん(mg/m ³)
横浜	10,136,892	3,161	4,273	3943.593	3872.406	97.357	6.4 (5-9)	58 (<600)	6 (<600)	0.60 (<1)	0.1未満 (<1)	21 (<120)	0.51 (<16)	0.1未満 (<1)	0.01未満 (<0.1)	0.05未満 (<1)	0.2未満 (<3)	0.05未満 (<10)	21 (<380)	1未満 (<5)	50 33	該当無し	2未満	42 40 29	該当無し	40 29	1未満

CO₂排出係数:0.491



廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃アルカリ	2516.8	63.8%
廃酸	1132.6	28.7%
廃プラスチック	135.3	3.4%
汚泥	44.6	1.1%
廃油	4.4	0.1%
一般ゴミ	48.7	1.2%
その他	61.2	1.6%
合計	3943.6	100%



PRTRデータ

単位: kg/年

政令番号	物質名	取扱量	排出量				移動量			
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動	移動量合計
53	エチルベンゼン	1176	1000	0	0	0	1000	0	170	170
80	キシレン	1176	990	0	0	0	990	0	180	180
272	銅水溶性塩(錯塩除く)	82892	0	0	0	0	0	20	59000	59020
411	ホルムアルデヒド	3478	35	0	0	0	35	0	250	250
	合計	88722	2025	0	0	0	2025	20	59600	59620

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	1,014 万kWh
重油	0 kL
灯油	0 kL
軽油	0 kL
都市ガス	536 km ³
LPG	0 km ³
資源	
地下水	0 千m ³
上水・工水	97 千m ³
基板コア材	70,973 m ²
段ボール	13 t
化学物質	
PRTR物質	89 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	4,274 t-CO ₂
水域	
河川	0 千m ³
下水	91 千m ³
廃棄物	
再資源化量	3,872 t
最終処分量	71 t
PRTR物質移動量	60 t

製品	
プリント配線板	56,724 m ²

※出荷面積

環境実績報告

事業所名：東北事業所

報告範囲：東北工場、プレマルチセンター

所在地：東北工場(福島県いわき市好間工業団地22-5)

プレマルチセンター(茨城県北茨城市中郷町日棚字宝壺644-12)

報告対象期間：2016年4月1日～2017年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 田河 浩 (茨城製造部 部長)

区分	テーマ	目標	実績	評価	2017年度目標
1	地球温暖化防止対策	CO ₂ 排出量 1%抑制(2015年度・原単位比)	8.7%削減	○	CO ₂ 排出量 1%抑制(2016年度・原単位比)
		エネルギー使用量 1%削減(2015年度・原単位比)	7.1%削減	○	エネルギー使用量 1%削減(2016年度・原単位比)
2	廃棄物の削減	廃棄物の排出量 1%削減(2015年度・原単位比)	2.7%増加	×	廃棄物の排出量 1%削減(2016年度・原単位比)
3	資源有効活用	コピー用紙使用量 5%削減(2015年度・使用量比)	0.2%削減	×	—
4	緊急事態の発生抑制	労働災害の発生抑制 休業4日以上:0件、4日未満:2件以下	休業4日以上労災:0件、4日未満労災:4件	×	労働災害の発生抑制 休業4日以上:0件、4日未満:2件以下
		製造工程における排水トラブル発生予防 排水トラブル発生0件	排水トラブル発生なし	○	製造工程における排水トラブル発生予防 排水トラブル発生0件
5	製品含有化学物質管理の継続推進	環境品質不適合発生0件	環境品質不適合発生なし	○	環境品質不適合発生0件
6	地域調和活動及びボランティアの推進	地域調和活動及びボランティアへの参加	海岸清掃(北茨城市主催)、工業団地清掃参加、献血等	○	地域調和活動及びボランティアの推進

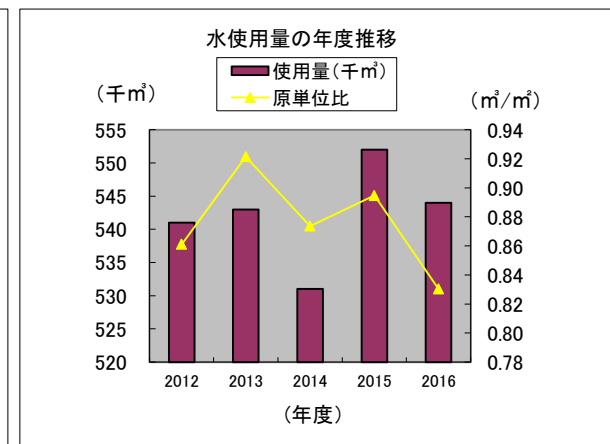
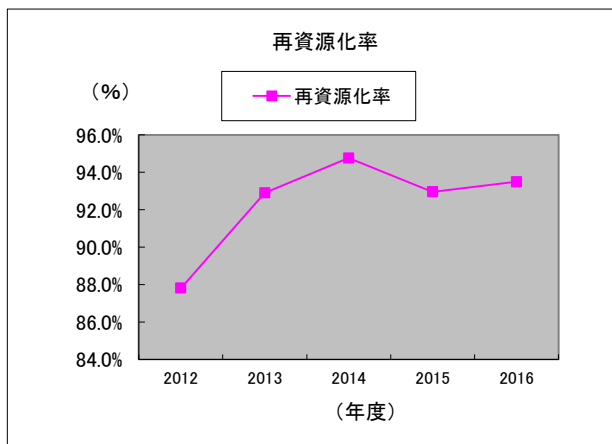
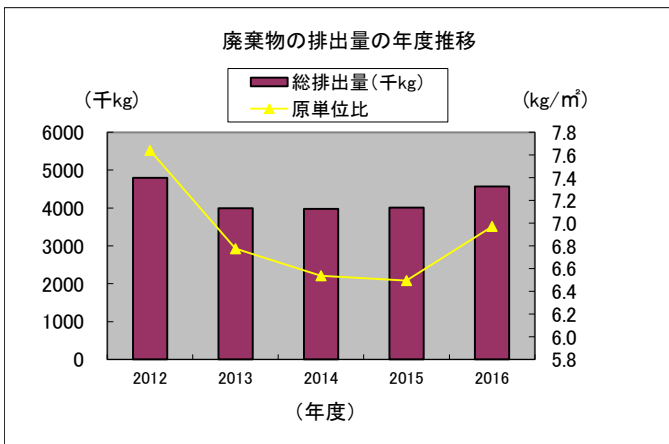
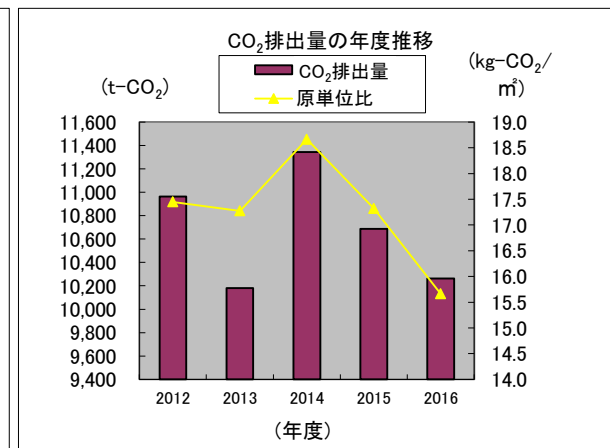
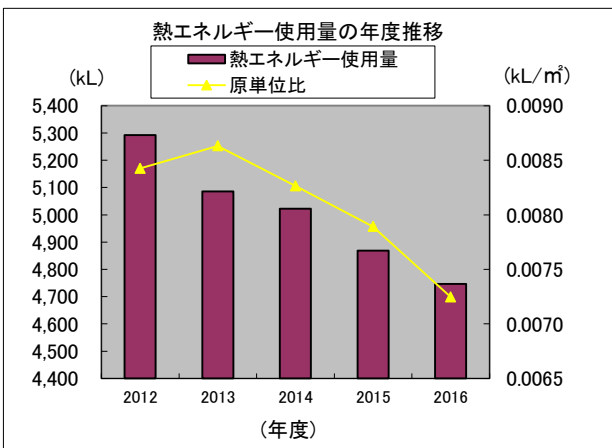
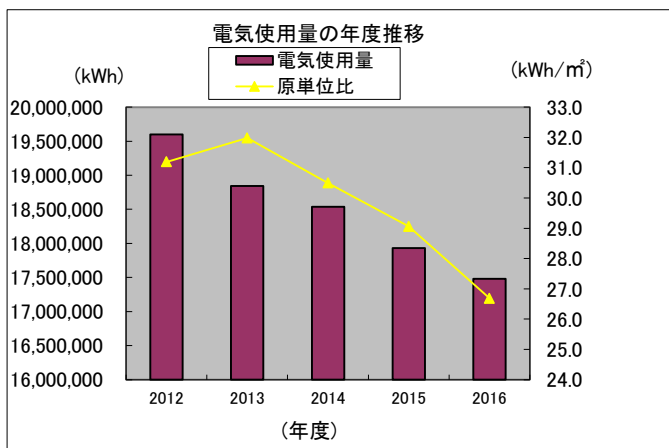
<各報告における注意事項>

- 1 原単換算係数及びCO₂排出係数について、各事業所の電力会社・ガス会社により異なります。
- 2 水資源について、各事業所の使用水源が異なります。
- 3 水質測定について、各事業所所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 4 大気測定について、法規制対象設備が無い事業所は報告から除外しております。
- 5 PRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。
- 6 大阪事業所は、2013年度に美原工場・堺工場を集約しました。その為に2012年度以前と2013年以降のデータを比較できません。
- 7 キョウデンプレジジョンは、2015年度中にグループへ含まれました。

環境負荷データ

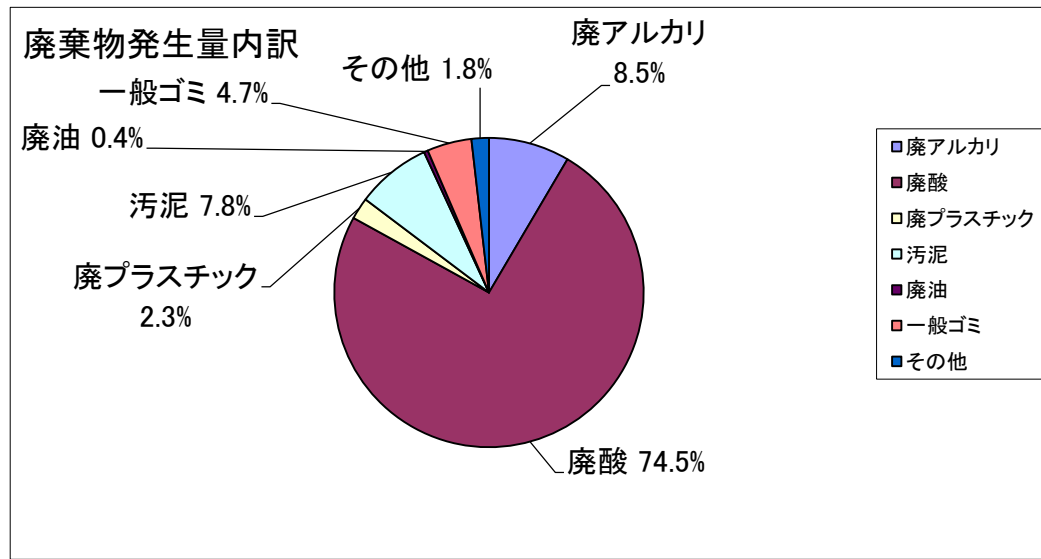
事業所名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果							大気の実績				
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	市水	pH	BOD	SS	n-ヘキサン(鉱油類)	n-ヘキサン(動植物油類)	銅含有量	溶解性鉄含有量	溶解性マンガ含有量	特定施設名: 蒸気ボイラーNo.1 特定施設名: 蒸気ボイラーNo.2			
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	Nox(ppm)	Sox(ppm)	ばいじん(mg/m ³ N)	硫酸化物K値
東北工場	17,481,572	4,747	10,262	4567	4270	544	7.9(6-8)	6.5(12)	9.2(30)	-	-	0.6(1.5)	0.6(8)	-	該当無し	該当無し	該当無し	該当無し
プレマルチセンター							7.3(5.8-8.6)	23(25)	2.6(40)	<0.5(5)	<0.5(10)	0.12(3)	0.1(10)	0.3(10)	該当無し	該当無し	該当無し	0.13(13)

CO₂排出係数: 東北工場(0.559)、プレマルチセンター(0.496)



廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃アルカリ	387	8.5%
廃酸	3404	74.5%
廃プラスチック	104	2.3%
汚泥	357	7.8%
廃油	19	0.4%
一般ゴミ	213	4.7%
その他	83	1.8%
合計	4567	100%



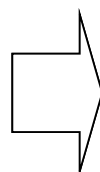
PRTRデータ

単位: kg/年

政令番号	物質名	取扱量	排出量				移動量			
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動	移動量合計
20	2-アミノエタノール	1036	0	0	0	0	0	0	1036	1036
71	塩化第二鉄	545106	0	0	0	0	0	0	0	0
272	銅水溶性塩(錯塩除く)	94291	0	0	0	0	0	0	1284	1284
300	トルエン	5548	4438	0	0	0	4438	0	1110	1110
395	ペルオキシ二硫酸ナトリウム	5822	0	0	0	0	0	0	0	0
405	ほう素化合物	1471	0	0	0	0	0	0	1471	1471
411	ホルムアルデヒド	3105	0	0	0	0	0	0	3105	3105
	合計	656379	4438	0	0	0	4438	0	8006	8006

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	1,748 万kWh
重油	243 kL
灯油	0 kL
軽油	0 kL
都市ガス	0 km ³
LPG	47 km ³
資源	
地下水	0 千m ³
上水・工水	544 千m ³
基板コア材	319,976 m ²
段ボール	26 t
化学物質	
PRTR物質	656 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	10,262 t-CO ₂
水域	
河川	538 千m ³
下水	0 千m ³
廃棄物	
再資源化量	4,270 t
最終処分量	297 t
PRTR物質移動量	8 t

製品	
プリント配線板	257,693 m ²

※出荷面積

環境実績報告

事業所名：大阪事業所

報告範囲：大阪工場、貝塚工場

所在地：大阪工場(大阪府泉大津市臨海町1-4-2)
貝塚工場(大阪府貝塚市二色中町6-7)

報告対象期間：2016年4月1日～2017年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 中 敏彦 (大阪環境保全課 課長)

区分	テーマ	目標	実績	評価	2017年度目標
1	エネルギー及び資源の有効利用	電気使用量の削減(前年度比1%削減)	2.3%削減	○	電気使用量の削減(前年度比1%削減)
2		CO ₂ 排出量の削減(前年度比1%削減)	1%削減	○	CO ₂ 排出量の削減(前年度比1%削減)
3		廃棄物の削減(前年度比1%削減)	13.7%増加	×	廃棄物の削減(前年度比1%削減)
3		水の削減(前年度比1%削減)	0.2%増加	×	水の削減(前年度比1%削減)

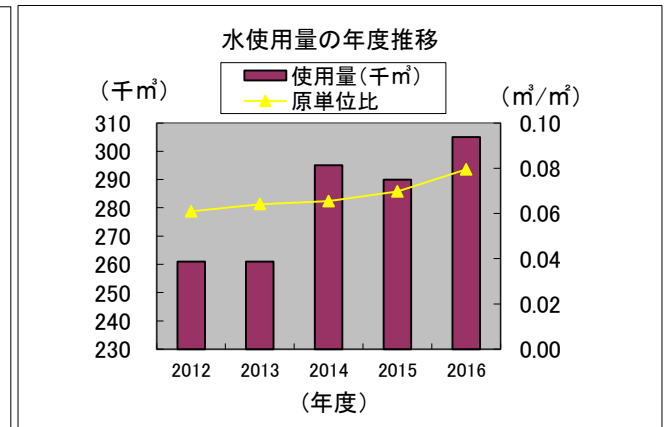
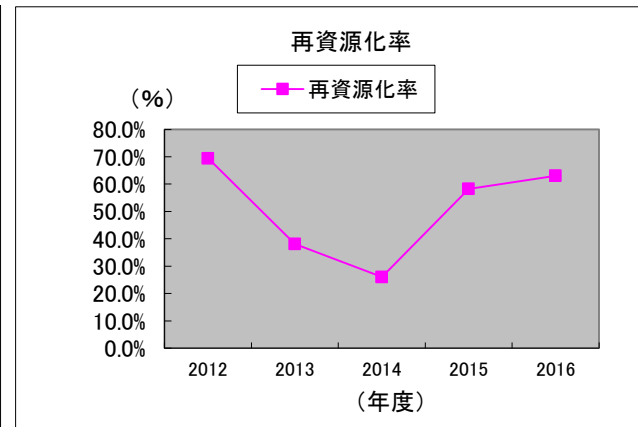
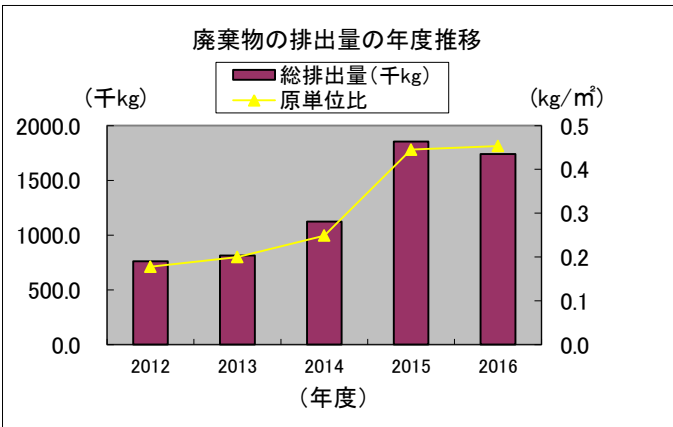
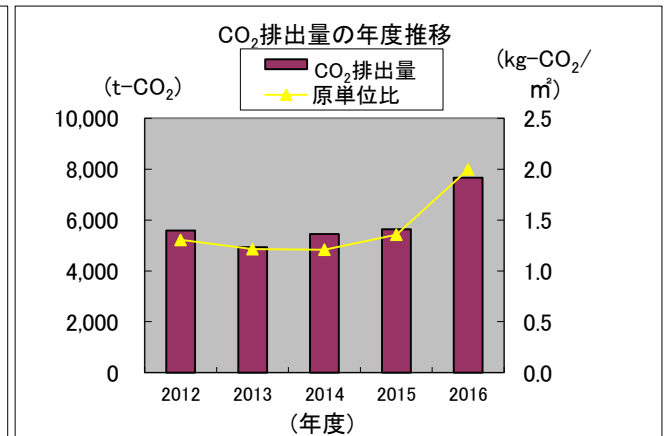
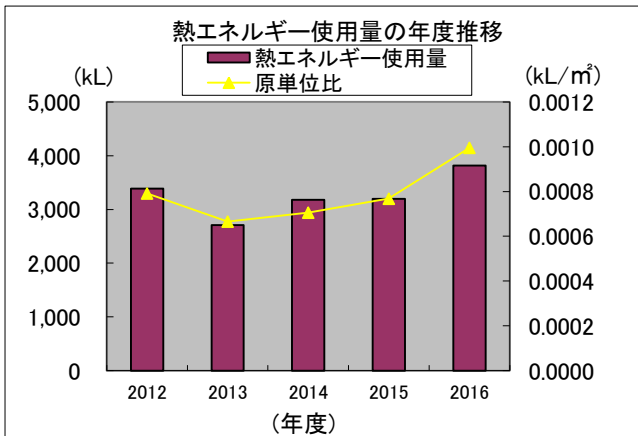
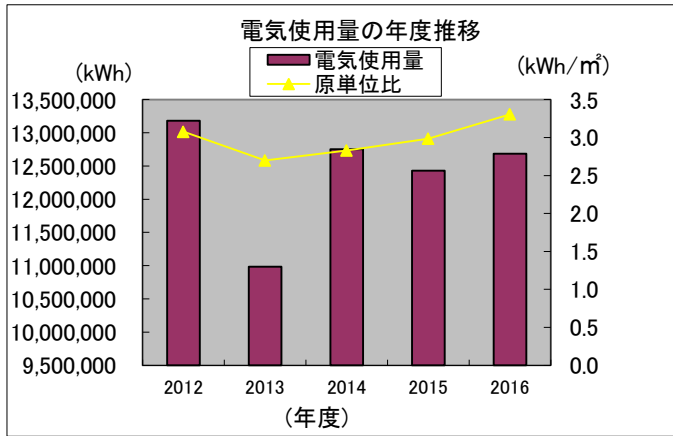
<各報告における注意事項>

- 1 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各事業所の電力会社・ガス会社により異なります。
- 2 水資源について、各事業所の使用水源が異なります。
- 3 水質測定について、各事業所所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 4 大気測定について、法規制対象設備が無い事業所は報告から除外しております。
- 5 PRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。
- 6 大阪事業所は、2013年度に美原工場・堺工場を集約しました。その為に2012年度以前と2013年以降のデータを比較できません。
- 7 キョウデンプレジジョンは、2015年度中にグループへ含まれました。

環境負荷データ

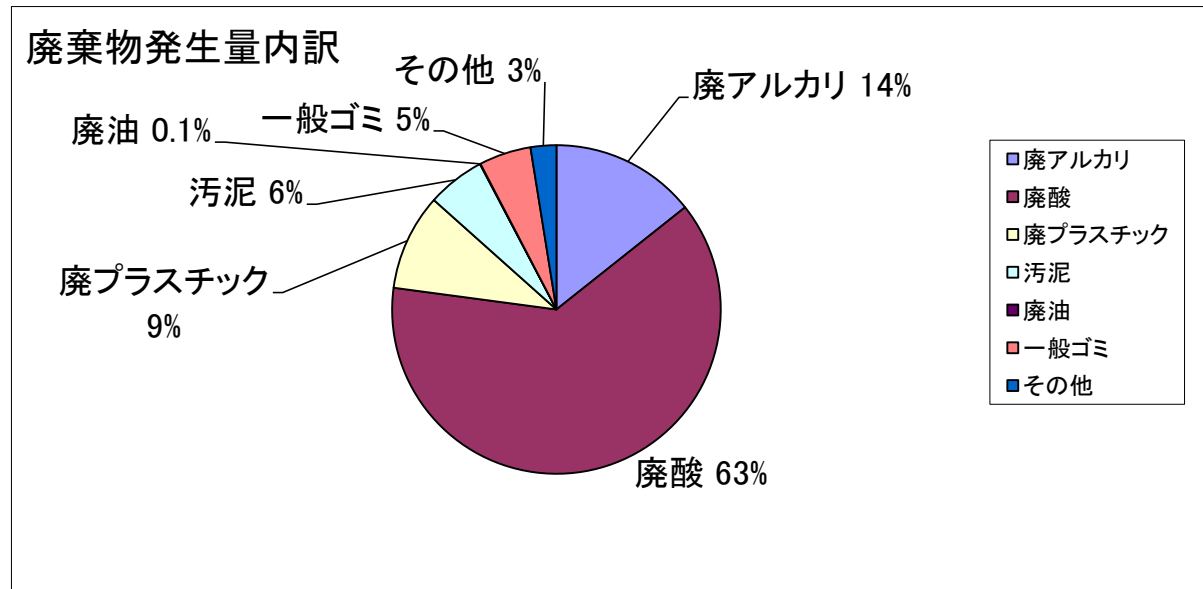
事業所名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果						大気の測定実績			
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	市水	pH	BOD	COD	SS	n-ヘキサン(鉱油類)	n-ヘキサン(動植物油類)	大腸菌群数	特定施設名		
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	個/cm ³	Nox(ppm)	Sox(ppm)	ばいじん(mg/m ³ N)
大阪工場	12,685,255	3,816	7,662	1739	1097	10.873	7.7(6.0-8.3)	19(20)	19(20)	1未満(-)	1未満(-)	1未満(-)	-	該当無し	該当無し	該当無し
貝塚工場							8.0(5.7-8.7)	51(300)	55(-)	15(300)	1未満(5)	1未満(30)	-	該当無し	該当無し	該当無し

CO₂排出係数: 0.509



廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃アルカリ	249	14.3%
廃酸	1092	62.8%
廃プラスチック	165	9.5%
汚泥	99	5.7%
廃油	1	0.1%
一般ゴミ	89	5.1%
その他	44	2.5%
合計	1739	100%



PRTRデータ

単位: kg/年

政令番号	物質名	取扱量	排出量				移動量			
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動	移動量合計
71	塩化第二鉄	63629	0	0	0	0	0	0	0	0
272	銅水溶性塩(錯塩除く)	1300	0	340	0	0	340	0	1700	1700
300	トルエン	3487	2000	0	0	0	2000	0	0	0
308	ニッケル	3176	0	0	0	0	0	100	0	100
395	ペルオキシ二硫酸ナトリウム	9000	0	0	0	0	0	1000	0	1000
411	ホルムアルデヒド	1700	0	0	0	0	0	0	0	1700
	合計	82292	2000	340	0	0	2340	1100	1700	4500

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	1,269 万kWh
重油	0 kL
灯油	0 kL
軽油	0 kL
都市ガス	565 km ³
LPG	0 km ³
資源	
地下水	0 千m ³
上水・工水	320 千m ³
基板コア材	114,016 m ²
段ボール	12 t
化学物質	
PRTR物質	81 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	7,663 t-CO ₂
水域	
河川	171 千m ³
下水	90 千m ³
廃棄物	
再資源化量	1,097 t
最終処分量	642 t
PRTR物質移動量	5 t

製品	
プリント配線板	110,517 m ²

※出荷面積

Environmental results report

Company Name : Kyoden(Thailand)Co., Ltd.

Factory Name : Thai Factory

Address : 209 Moo 8, Yutthasat 331 Rd., Bowin, Sriracha, Chonburi 20230 Thailand
34/4 Moo 8, Yutthasat 331 Rd., Bowin, Sriracha, Chonburi 20230 Thailand

Report object period: 2016/04/1~2017/3/31

Report person in charge: Ms. Punnee Kokong /ISO: Environment chief

Report responsible: Ms. Pasita Sukprasert / ISO/Document & Environment Ass't GM

No	Theme	Aim 2016	The results	Evaluation	Aim of 2017
1	Regional harmonization activities	Claim environmental neighbors must be zero	0	O	0
2	Preventing of global warming	Total electric consumption per unit (SEC) less than 42.00 kWh / m ² (reduce 5% from 2015) 42 kWh / m ²	37.02 kWh/m ²	O	42 kWh / m ²
3	Promotion of energy conservation/ Reduction of water resources	Water Resources Consumption / 0.67 m ³ / m ² (Reduce 5% from 2015) 0.67 m ³ / m ²	0.53 m ³ /m ²	O	0.67 m ³ / m ²
4	Reduction of waste	The amount of white cloth cleaning the screen down 1 % from 2015/each of month (t) 1%	△ 1.22%	X	Don't target
5		Etching waste shall be down 1 % from 2015 (t) 1%	△ 9.28 %	X	Don't target
6		Chelate waste shall be down 30 % from 2015 (t) (Start April 2016, Chelate from F3) 30%	49.71%	O	Don't target
7		PCB Scrap not more than 2% per month. 2%	△ 2.78%	X	PCB Scrap not more than 2% per month. 2%

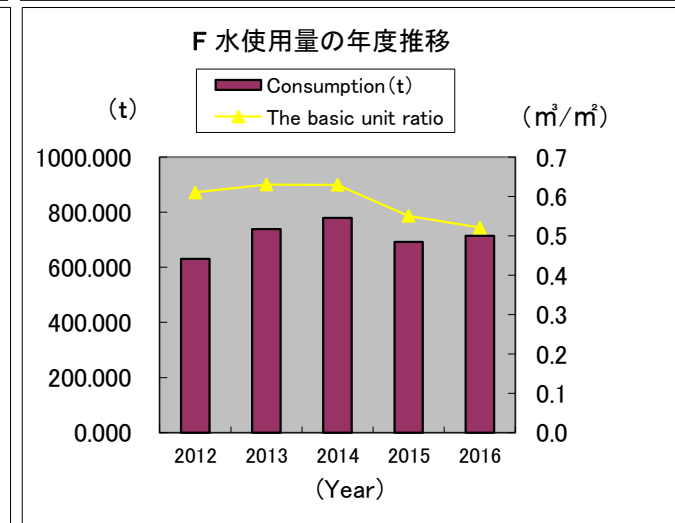
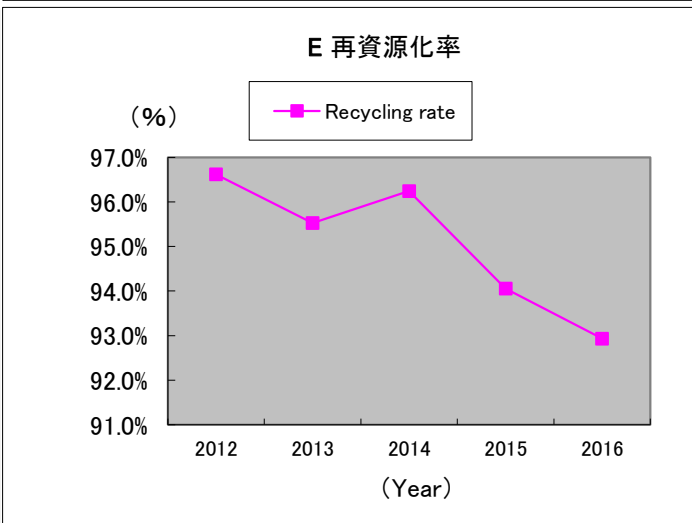
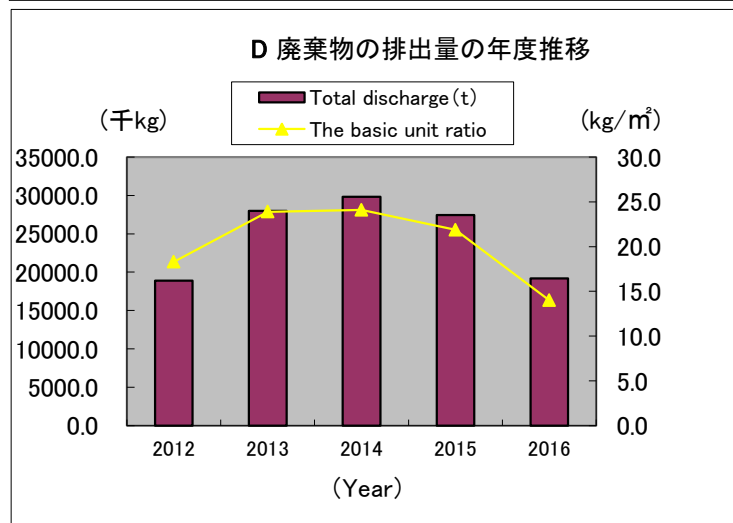
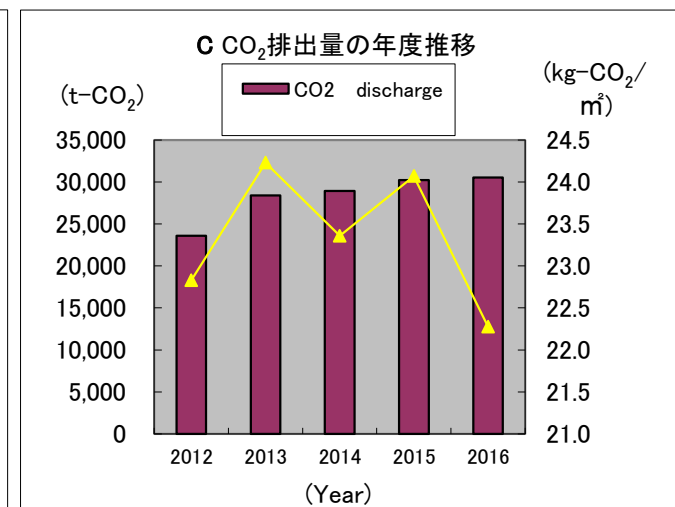
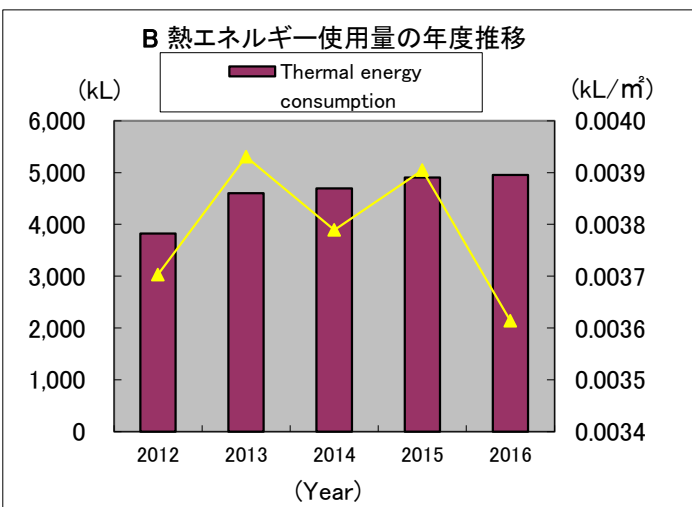
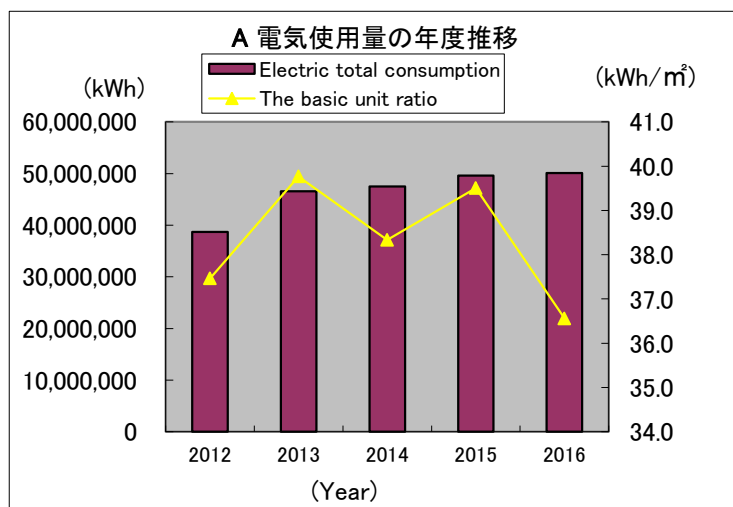
<Instructions in the report>

- 1 About a crude oil conversion factor and a CO₂ emission coefficient, it varies according to an electric power company, the gas company of each factory.
- 2 About aquatic resources, the use source of a river of each factory is different.
- 3 Because laws and regulations vary according to the local government of each factory location about water quality measurement, a measurement item and the standard values are different.
- 4 About the atmosphere measurement, I exclude the factory without facilities targeted for laws and regulations from a report.

環境負荷データ(load data)

工場名 (Factory name)	エネルギー(Energy)			廃棄物(Waste)		水資源 (Aquatic resources)	水質測定結果(Water quality measurement result)						大気の実績 (The atmospheric measurement results)			
	Electric total consumption	Thermal energy consumption	CO ₂ discharge	Total discharge	Quantity of recycling	Water for industrial use	pH	BOD	COD	SS	n-ヘキサン(鉱油類)(n-hexane Mineral oil)	n-ヘキサン(動植物油類)(n-hexane Animals and plants oil)	大腸菌群数 (The number of the coliform bacteria)	特定施設名(Specific facilities name)		
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(t)	(t)	Consumption(千㎡)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	個/cm ³	Nox(ppm)	Sox(ppm)	ばいじん(mg/m ³ N)
Thai factory	50,105,400	4,953	30,529	19,206.79	17,849.52	713.914	7.91 (5.5-9)	31.5 (500)	92.67 (750)	10.83 (200)	N/A	N/A	N/A	40.15	N/A	0.15

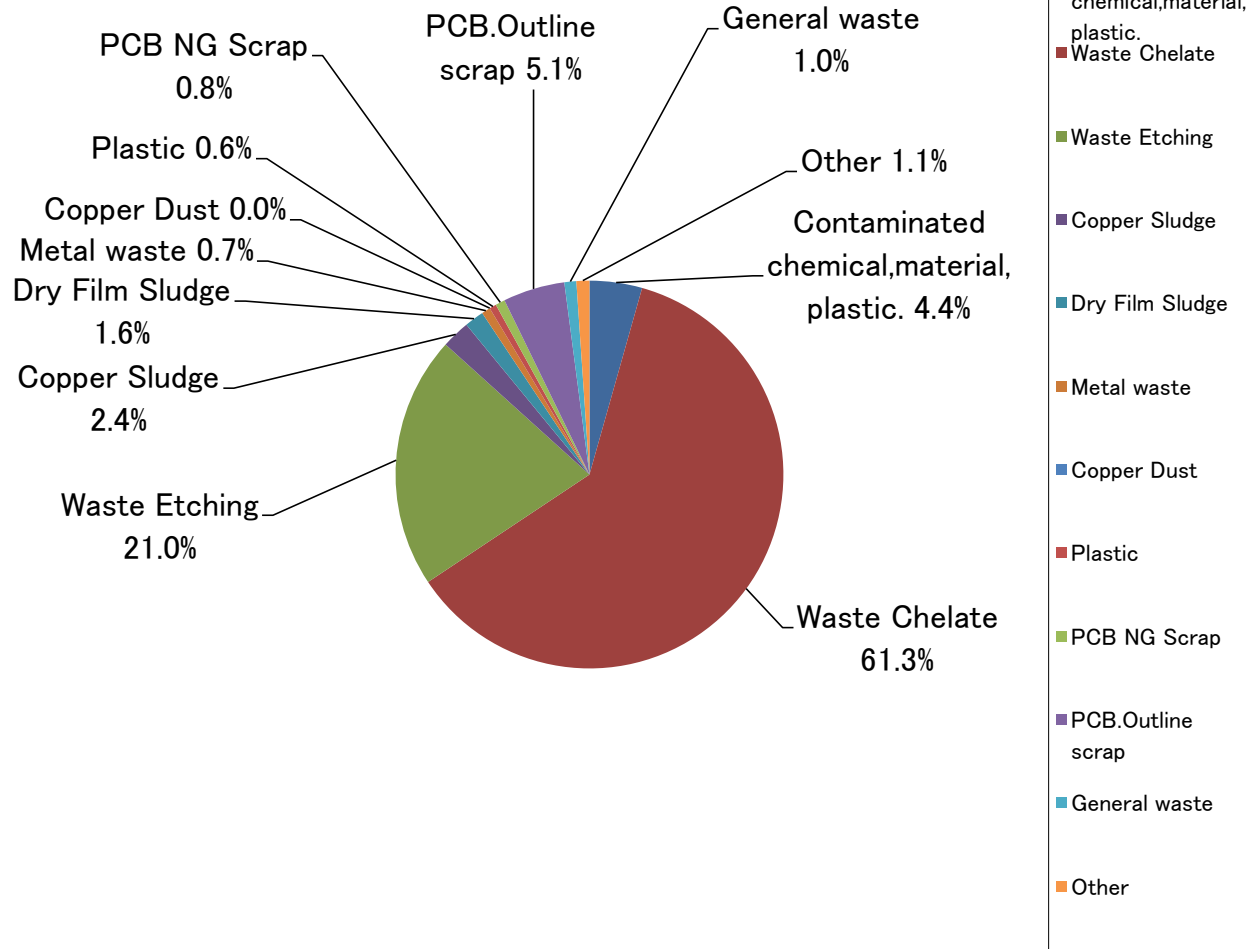
CO₂Discharge coefficient:0.6093



廃棄物発生量内訳(Breakdown of the quantity of waste outbreak)

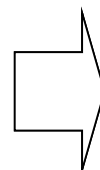
廃棄物名(Name of the waste)	発生量 Quantity of outbreak (t)	割合 (Ratio)
Contaminated chemical,material,plastic.	841.2750	4.4%
Waste Chelate	11,768.0600	61.3%
Waste Etching	4,042.2150	21.0%
Copper Sludge	452.6754	2.4%
Dry Film Sludge	310.4500	1.6%
Metal waste	140.3748	0.7%
Copper Dust	0.0000	0.0%
Plastic	111.3457	0.6%
PCB NG Scrap	152.9147	0.8%
PCB.Outline scrap	988.9467	5.1%
General waste	191.1380	1.0%
Other	207.3945	1.1%
合計	19,206.7898	100.0%

廃棄物発生量内訳



マテリアルバランス(Material balance)

INPUT	
エネルギー(Energy)	
電気(Electricity)	50,105 MWh
重油(Heavy oil)	0 kL
灯油(Kerosene)	0 kL
軽油(Light oil)	0 kL
都市ガス(Gas)	408 km ³
LPG(Liquefied natural gas)	0 km ³
資源(Resources)	
地下水(Groundwater)	0 t
上水・工水(Water supply)	714 t
基板コア材(Board Core)	927,999 m ²
段ボール(Corrugated cardboard)	153 t



OUTPUT	
大気(Atmosphere)	
CO ₂	30,529 t-CO ₂
水域(Area of the sea)	
河川(River)	0 t
下水(Sewage)	571 t
廃棄物(Waste)	
再資源化量(Quantity of recycling)	17,850 t
最終処分量(Quantity of last disposal)	1,357 t
製品(Product)	
プリント配線板 (Printed wiring board)	871,498 m ²

※出荷面積(Shipment area)

環境実績報告

事業所名：株式会社キョウデンプレシジョン

報告範囲：株式会社キョウデンプレシジョン

所在地：静岡県伊豆の国市三福80-2

報告対象期間：2016年4月1日～2017年3月31日

報告責任者：生産技術部 生産技術課 主任 岩本公男（環境管理責任者 管理部 部長 金田 博）

区分	テーマ	目標	実績	評価	2017年度目標
1	化学物質取扱量の削減	生産高原単位：0.25520(Kg/百万円)	0.2319(Kg/百万円)	○	生産高原単位 1%削減（2016年度・原単位比）
2	廃棄物量削減	生産高原単位：0.04821(Kg/百万円)	0.07588(Kg/百万円)	×	生産高原単位 1%削減（2016年度・原単位比）
3	水使用量削減	人数原単位:4.103(m ³ /人)	3.828(m ³ /人)	○	人数原単位 1%削減（2016年度・原単位比）
4	電力使用量削減	生産高原単位:0.65003(千KWh/百万円)	0.64965(千KWh/百万円)	○	生産高原単位 1%削減（2016年度・原単位比）

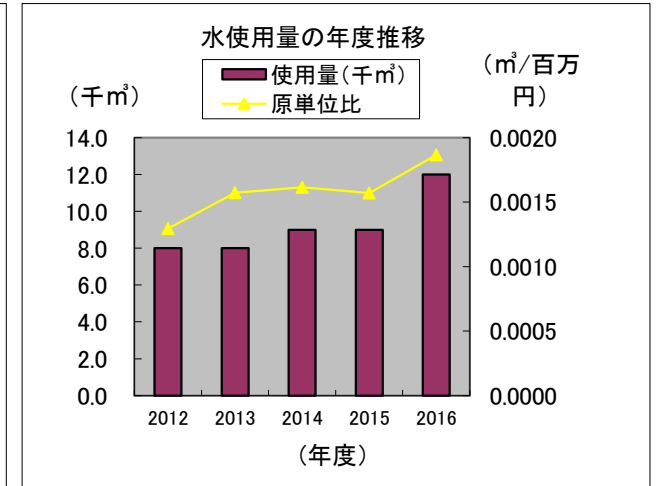
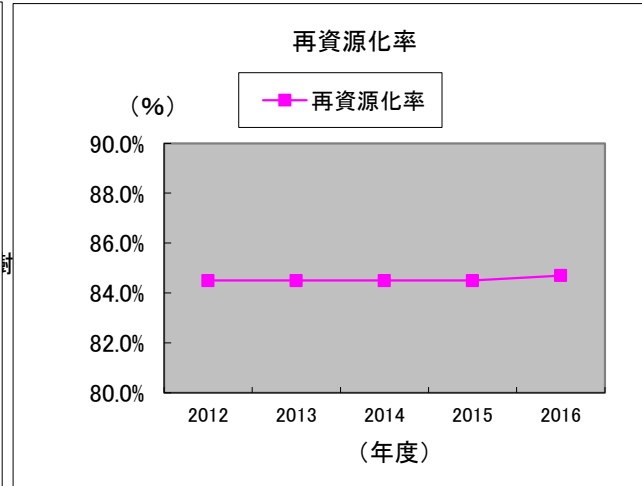
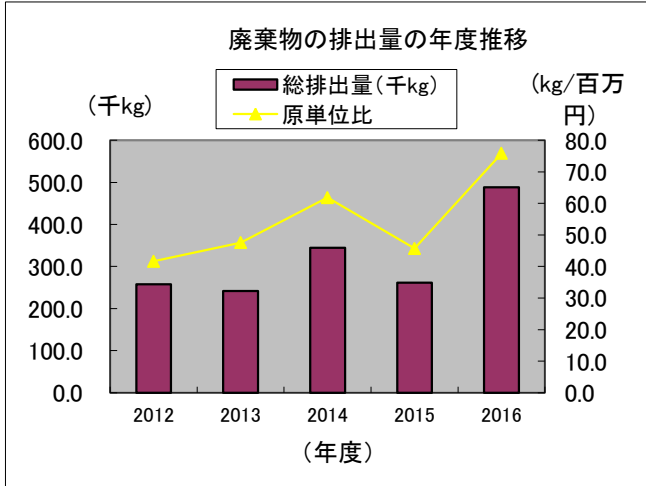
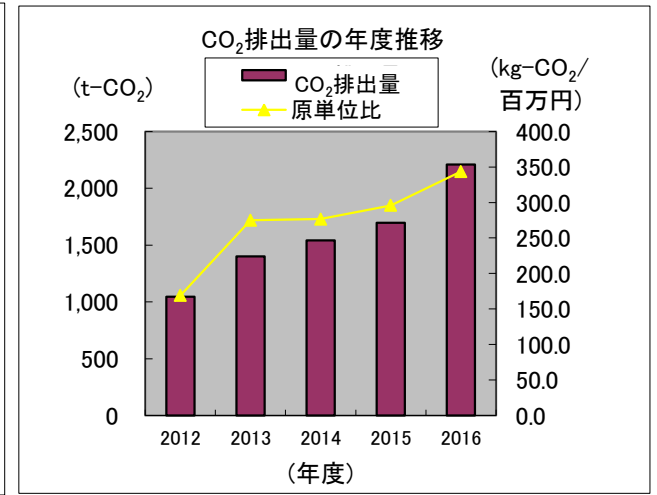
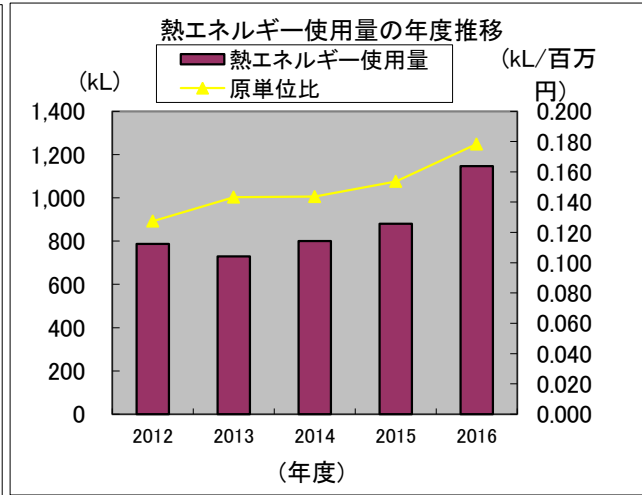
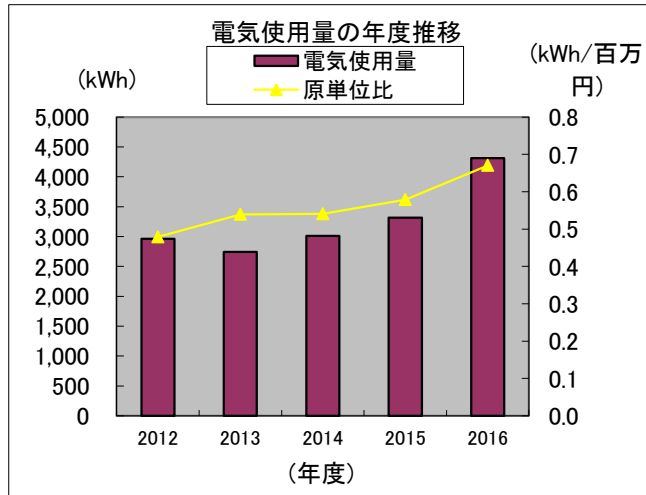
<各報告における注意事項>

- 1 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各事業所の電力会社・ガス会社により異なります。
- 2 水資源について、各事業所の使用水源が異なります。
- 3 水質測定について、各事業所所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 4 大気測定について、法規制対象設備が無い事業所は報告から除外しております。
- 5 PRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。
- 6 大阪事業所は、2013年度に美原工場・堺工場を集約しました。その為に2012年度以前と2013年以降のデータを比較できません。
- 7 キョウデンプレシジョンは、2015年度中にグループへ含まれました。

環境負荷データ

事業所名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果								
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	市水	pH	BOD	COD	SS	n-ヘキサ ン(鉱油 類)	n-ヘキサ ン(動植物 油類)	大腸菌群数	アンモニア、 亜硝酸化 合物等	鉛及びその 化合物
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	個/cm ³	mg/l	mg/l
キョウデンプレジジョン	4,314	1,147	2,208	488	413	12	7.7 (5を超え～9未満)	85.1 (600mg未満/1ℓ)	-	66.6 (600mg未満/1ℓ)	0.5 (5mg以下/1ℓ)	3.5 (30mg以下/1ℓ)	605 (2400個未満)	26.3 (380mg未満/1ℓ)	0.01 (0.08未満)

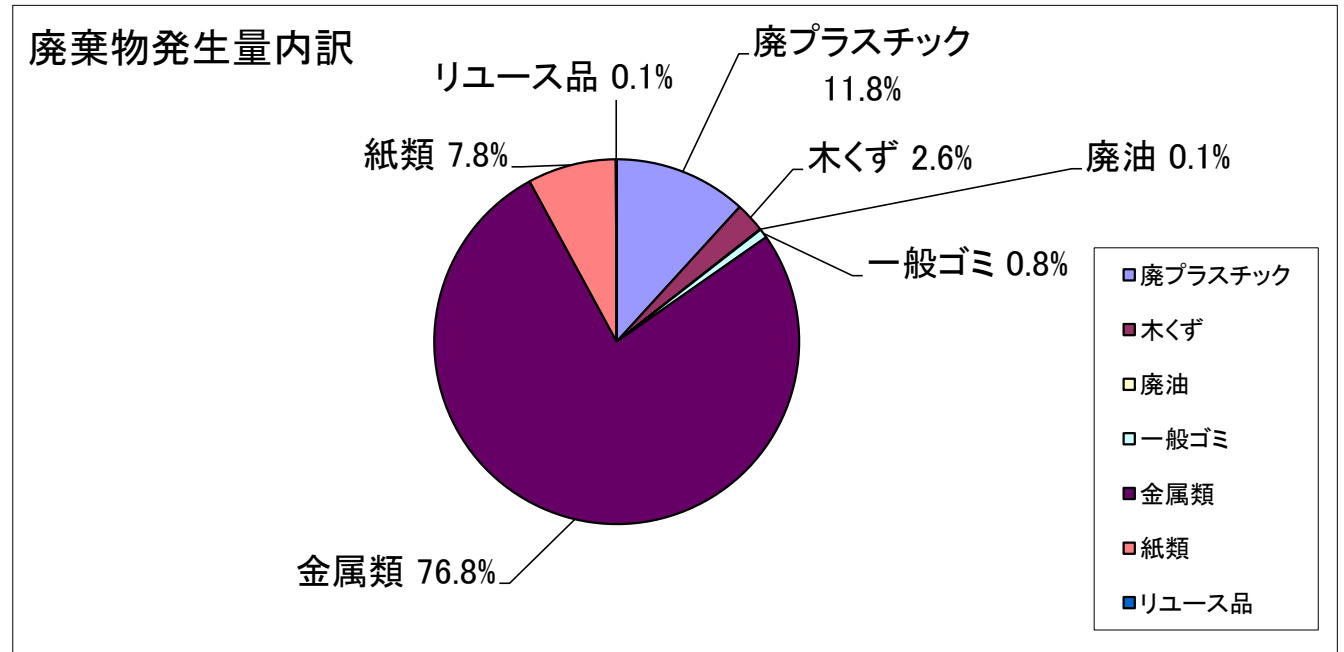
CO₂排出係数:0.5



廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃プラスチック	57.5	11.8%
木くず	12.9	2.6%
廃油	0.27	0.1%
一般ゴミ	4	0.8%
金属類	375	76.8%
紙類	38.3	7.8%
リユース品	0.39	0.1%
合計	488.36	100%

廃棄物発生量内訳



PRTRデータ

単位: kg/年

政令番号	物質名	取扱量	排出量				移動量			
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動	移動量合計
25	アンチモン化合物	317.9	0	0	0	0	0	0	0	0
64	銀	14.2	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	332.1	0	0	0	0	0	0	0	0

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	431 万kWh
重油	0 kL
灯油	0 kL
軽油	0 kL
都市ガス	0 km ³
LPG	2,522 km ³
資源	
地下水	0 千m ³
上水・工水	72 千m ³
樹脂材料	600 t
段ボール	0 t
化学物質	
PRTR物質	0.33 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	2,208 t-CO ₂
水域	
河川	0 千m ³
下水	12 千m ³
廃棄物	
再資源化量	413 t
最終処分量	7 t
PRTR物質移動量	0 t

製品	
樹脂成形品	528 t